



生理の貧困が問題になっているが

答 福祉室の窓口で無償配布する

問 コロナ禍の女性の負担軽減について、とりわけ、経済的な理由で生理用品が買えないなど、生理の貧困が問題になっている。地域女性活躍推進交付金が拡充され、生理用品の提供が可能になったが、町の対応は。

答 介護福祉課長 7月から、介護福祉課の福祉室の窓口で無償配布する予定である。

答 町長 できるだけ速やかにできるようにしたい。

問 貧困で購入できないだけでなく、ネグレクト（養育放棄）により、親などから生

理用品を買ってもらえないケースも指摘されている。小・中学校の個室トイレでの生理用品の無償配布を望むが。

答 教育委員会事務局 長 学校としては、慎重な対応が求められることから、保健室にて養護教諭が直接手渡すようにしたい。

問 デジタル化が進み、行政手続きのオンライン化推進など、利便性が高まると向上する。デジタル機器に不慣れた高齢者などにも恩恵が受けられるように対策が必要と思うが。

答 介護福祉課長 地元ICT企業などと連携して、講習会など行いたい。また、ロボバを最大限に活用したい。

問 高齢者のマイナンバーカードの取得率はどうか。

答 住民課長 65歳以上の交付率は約27・7%で、内訳は65歳から74歳が約31・9%、75歳以上が約22・8%。

問 マイナンバーカードの交付時の本人確認で、書類の不備があった時の対応など改善が必要と思うが。

答 住民課長 話をよく聞いて、相談に応じながら証明書類を確認したい。

問 脳卒中や認知症の予防対策として、葉酸サプリメントプロジェクト事業の実施を望むが。

答 町長 今後の検討課題とさせていただきます。

狭い通学路の安全対策を

答 側溝ふたを設置し、幅員を確保したい

問 信号待ちを回避すべく、狭い通学路に車がスピードを出して迂回している現状があり、安全対策を望む。

答 建設課長 道路幅員確保のために、可能なところは、側溝ふたを設置したい。

問 駒小西の道路をゾーン30の区域にできないか。

答 総務課長 警察では、指定の可否は別だが、必要があれば要望を上げてほしいとの回答。

ミニ解説

※葉酸 ビタミンB群の1種。脳卒中・認知症などに有効とされる。



明小南のゾーン30



さかた かずひろ 坂田 一広 議員



録画映像は  
こちらをCHECK

# 成年後見人への報酬助成、要件緩和を

## 答 現在は考えていない

**問** 認知症の高齢者が成年後見制度を利用する場合、後見人などへの報酬支払いが、制度利用を躊躇させる場合もある。報酬助成の要件を緩和できないか。

**答** 介護福祉課長 現在は考えていない。

**問** 高齢者などの移動手段の確保として「公共交通体系の見直し」をどう考えるか。

**答** 企画財政課長 新たな公共交通システムの可能性も模索し、既存の公共交通も維持・推進することで、町民の利便性を図りたい。

**問** 介護事業者が必要以上の介護サービスを受けさせる「囲い込み」についてどう考えるか。

**答** 介護福祉課長 法に基づく監査や報酬の返還命令を行うなど、適切な是正指導を行う。

**問** 第3次行政改革の終期が1年延長された。進捗状況は。

**答** 町長 令和2年度を令和3年度の目標値に読み替え、継続実施している。各所属に取り組み結果を確認し、第6次総合計画に組み込めるよう事務を進めたい。

## 税・料のクレジットカード納付を

### 答 今後も調査検討したい

**問** 行政改革実施計画にある、税・料のクレジットカードなどによる納付がまだに実現していないが。

**答** 税務会計課長 町民の利便性向上のため、納付方法を増やすことは重要。今後調査検討したい。

**問** 「イ」の利用は国のガイドラインに合致しているか。

**答** 税務会計課長 ガイドラインの確認事項はすべて満たしている。

**問** 本年度からスマホ決済による納付が始まった。「ラインペ

イ」の利用は国のガイドラインに合致しているか。

**答** 町長 第7期計画には、第5期計画

**問** 第8期介護保険事業計画が本年度から開始した。第7期計画での課題は。

から取り組んでいる地域包括ケアシステムのさらなる推進を図り、高齢者が自立して生活できる支援を盛り込んで。計画の最終年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の中止や見直しなど余儀なくされたが、おおむね実施できた。しかし、

介護が必要な高齢者が増加する中、介護人材の確保や地域支援体制の充実強化は、課題も見つかった。第8期計画の中で改善し、実現に向けた取り組みを行いたい。



納付方法を増やすことは重要



いづか けんじ 飯塚 憲治 議員



録画映像はこちらをCHECK

# 漆原東・駒小半田線の冠水対策は

## 答 吉岡川への排水路増強を実施

**問** 漆原東・大町地区、駒小半田線の冠水滞留状況は特にひどい。早急な対策は。

**答** 町長 当該箇所から吉岡川に通じる町道の、側溝の拡大と敷設替えを行う。

**答** 建設課長 完成は本年度末を計画。

**問** 町民グラウンドの遊水池状態からの脱却計画は。

**答** 建設課長 道路境界にグラウンドへの雨水流入防止ブロックを設置、側溝には流水溢れ防止処置を施工した。今後は対策の効果と実態を検証していく。

**問** 公園の整備とその後維持管理方針は。

**答** 建設課長 アンケート調査結果を分析、現況と課題を整理し、土地計画マスタープランに沿った公園造りを進める。公園維持管理手法は地元自治会の意向を考慮。

**問** 福祉施設ロバロバのさらなる活用策は。

**答** 介護福祉課長 ポランティアや福祉関係者が気軽に立ち寄れる「ハートボラカフェ」を創設。本年度は放課後児童の見守り教室、インターネット環境を作り、児童学習支



冠水がひどい（駒小半田線）

援、高齢者へのICT活用支援などを計画。

**問** 都市計画道路大久保上野田線の早期着工計画へのアプローチ、その後の進展は。

**答** 町長 施工予定路線になるよう、引き続き県当局へ強く要望する。県渋川土木事務所への働きかけは、渋川市と連携協力して推進する。

**問** 農業後継者の減少、現況の分析と対策は。

**答** 産業観光課長 農業は思うより重労働、収入も少ないなどの理由で後継者が少な

く、問題解決の特効薬も少ない。今後も、新規就農者の発掘と定着取り組みたい。

### 今後の観光開発の焦点は

**答** 既存の観光拠点や施設・資源の強化拡充

**問** 吉岡町次期総合計画での、観光開発の焦点は。

**答** 産業観光課長 既存の観光拠点や施設・資源の強化拡充を基本にしたい。現状分析、市場の動向、需要を捉えつつ、次期総合計画に取り組み。

**問** ケイマンゴルフ場の南側、「水辺の公園」の建設計画は。

**答** 建設課長 将来的には必要と考えられるが、相当な事業費が必要。進行中の次期総合計画策定で、具体的な検討を進める。

**問** 小倉地区の「乾燥芋とブドウ園」若

干の減退傾向と聞くが、観光農業としての振興・支援策は。

**答** 産業観光課長 吉岡を代表する観光資源。それぞれの組合との連携をはかりながら、将来目標への活動を支援する。

**問** 吉岡町全体の観光開発にも組み入れた振興公社の将来構想は。

**答** 産業観光課長 観光産業は利益雇用、人づくりなど、地域貢献に資することが必要。公社は地域振興の中間的役割を果たしながら発展できるように、町も一体となって調査研究を進めていく。